



# みようこう 市議会だより



旧関山宝蔵院庭園から眺める妙高山

## 【主な内容】

- 議会ではこのように決まりました…………… 2ページ
- 審議された議案と審議結果…………… 3ページ
- 予算に関する本会議での質疑…………… 4～6ページ
- 常任委員会で議案をじっくり審査…………… 7～8ページ
- ここが聞きたい！一般質問…………… 9～15ページ
- 1年間の議会活動ほか…………… 16ページ

## 新型コロナウイルス感染症対策・豪雪対策等で補正予算が決まりました！

### 【2月臨時会 令和2年度補正予算の概要】

- ◆新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備（国から提供されるワクチンを保管する冷凍庫の設置、ワクチン接種に必要な消耗品や備品等の購入、ワクチン接種を管理するためのシステム改修費等）に係る費用を補正。
- ◆医療従事者等に対する新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用を補正。

令和2年度一般会計 451万5000円を増額

### 【3月定例会 令和2年度補正予算の概要】

- ◆けいなん総合病院内の感染症専用診察室（発熱外来）で新たに行うPCR検査の機器導入に係る補助金を補正。
- ◆豪雪で被災した農業用ハウスの再建等に係る補助金を補正。
- ◆新しい生活様式に対応する行政サービスを提供するとともに、感染拡大時にも市役所業務の維持・継続を図ることができる環境整備に係る費用を補正。
- ◆テレワーク等を通じて新たな人の流れの創出を図り、市内経済の活性化や雇用につなげるため、公募により民間事業者が整備するサテライトオフィス等の開設を支援し、市外からの企業進出を促進するための補助金を補正。
- ◆国の雇用調整助成金等の特別措置が延長されたことで、雇用維持を図る事業主が社会保険労務士へ依頼する際の手数料に係る補助に不足が見込まれることから、必要な補助金を補正。
- ◆介護予防・生活支援サービス事業の利用者数の増加により、予算に不足が見込まれることから、不足相当分に対する介護保険特別会計への繰出金を補正。
- ◆共同生活援助（グループホーム）及び自立訓練（生活訓練）の利用者数の増加により、予算に不足が見込まれることから、必要な扶助費を補正。
- ◆県営農業農村整備事業の事業費調整と、国の補正予算による事業費の増額に伴い、市負担金を補正。
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業について、国の方針変更により、医療従事者等に対するワクチン接種が4月下旬以降となり、年度内の事業完了が見込めないことから、繰越明許費として設定。

一般会計のほか、国民健康保険特別会計では保険税の還付見込みが当初見込みより下回ることから2192万2000円の減額、介護保険特別会計も同様に保険料の還付見込みが当初見込みより下回ることから4291万2000円を減額補正しました。

令和2年度一般会計 1億762万3000円を増額  
⇒ 一般会計総額は236億4661万5000円

### 【3月定例会 令和3年度補正予算】

- ◆新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用を補正。

令和3年度一般会計 7999万1000円を増額  
⇒ 一般会計総額は183億999万1000円

# 3月定例会で新たに3件の条例が制定されました。

## 生命地域妙高ゼロカーボン推進条例

2050年における二酸化炭素排出量実質ゼロを今後の市政の重要課題と位置づけ、そのための施策を総合的かつ計画的に推進し、持続可能な脱炭素型地域の実現を図るため、必要な事項を定めるもの。

## 希少野生動植物保護条例

希少な植物群落の減少や昆虫の乱獲など、絶滅の危機に直面している当市の希少野生動植物を保護し、次代に継承するため、保護が必要な種の指定や捕獲等の禁止などについて必要な事項を定めるもの。

## 手話言語条例

※ろう者がコミュニケーションに不安を感じることなく、地域社会で安心して暮らすことができるよう、市民が手話やろう者の理解を深め、全ての市民が共に生きる地域社会の実現を目指すため、必要な事項を定めるもの。

※ろう者…手話を言語として日常生活又は社会生活を営む上で、日本手話及び手指日本語を主なコミュニケーション手段として用いている耳の聞こえない者をいう。

# 【審議された議案と審議結果】

## 可決された議案

### 【令和3年2月臨時会】

議案名	
令和2年度補正予算	一般会計補正予算(第13号)



### 【令和3年3月定例会】

議案名	
条例関係	道路占用料等徴収条例の一部改正
	生命地域妙高ゼロカーボン推進条例
	妙高市希少野生動植物保護条例
	斎場条例の一部改正
	手話言語条例
	介護保険条例の一部改正
	国民健康保険条例の一部改正
	国民健康保険税条例の一部改正
	地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正
令和2年度補正予算	一般会計補正予算(第14号)
	一般会計補正予算(第15号)
	一般会計補正予算(第16号)
	国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
	介護保険特別会計補正予算(第4号)

議案名	
令和3年度予算	一般会計予算
	国民健康保険特別会計予算
	後期高齢者医療特別会計予算
	高柳工場団地開発事業特別会計予算
	介護保険特別会計予算
	杉野沢財産区特別会計予算
	ガス事業会計予算
	水道事業会計予算
	公共下水道事業会計予算
	簡易水道事業会計予算
令和3年度補正予算	一般会計補正予算(第1号)
人事案件	公平委員会委員の選任同意【関原敏明さん(岡新田)】
	固定資産評価審査委員会委員の選任同意【尾島弘恵さん(学校町)】

# 令和3年度各会計予算総括質疑!! 予算に関する本会議での質疑

3月10日、11日の本会議において9人の議員が市長から提案された令和3年度各会計予算について、事前通告制で質疑を行いました。1人70分の持ち時間の中で交わした議論のうち、一部を掲載します。

予算に関する本会議での質疑

## 通告項目

（通告順（敬称略））

- 1 宮崎淳一**
  - 1 行政窓口サービス向上事業について
  - 2 関係人口創出・拡大事業について
  - 3 市役所「ゼロスマート」推進事業について
  - 4 生活交通確保対策事業について
  - 5 道路新設改良事業について
  - 6 安全・快適住まいづくり支援事業について
- 2 天野京子**
  - 1 体と心の健康づくり事業について
  - 2 すぐく親子健康づくり事業について
  - 3 2050ゼロカーボン推進事業について
  - 4 障がい者日常生活支援事業について
- 3 宮澤一照**
  - 1 スマート自治体推進事業について
  - 2 地域創生推進事業について
  - 3 関係人口創出・拡大事業について
  - 4 地域のこし協力隊活動推進事業について
  - 5 観光地域づくり団体支援事業について
  - 6 市債の内容について
- 4 村越洋一**
  - 1 市役所「ゼロスマート」推進事業について
  - 2 広報活動推進事業について
  - 3 地域づくり応援事業について
  - 4 基礎学力向上支援事業について
  - 5 生涯学習推進事業について
- 5 岩崎芳昭**
  - 1 2050ゼロカーボン推進事業について
  - 2 六次産業化推進事業について
  - 3 地域経済活性化推進事業（六十朝市）について
  - 4 観光地域づくり団体支援事業について
- 6 渡部道宏**
  - 1 地域づくり応援事業について
  - 2 2050ゼロカーボン推進事業について
- 7 堀川義徳**
  - 1 職員能力発揮事業について
  - 2 関係人口創出・拡大事業について
  - 3 安全快適住まいづくり支援事業について
  - 4 基礎学力向上支援事業について
- 8 小嶋正彰**
  - 1 一般管理事業（財務課）について
  - 2 農業振興費（農業振興地域整備計画の見直し）について
  - 3 観光地域づくり団体支援事業について
  - 4 観光施設整備事業について
  - 5 妙高ふるさと暮らし応援事業について
  - 6 新図書館等複合施設整備事業について
- 9 高田保則**
  - 1 2050ゼロカーボン推進事業について

## 総務務費

○職員能力発揮事業

**堀川議員** 研修内容や研修を受ける職員はどのように決めているのか。

**総務課長** 大学と連携した法務研修や若手職員には個々の持つ能力・特性を自身が把握する人材力診断、早期育成に向けた政策形成研修のほか、コロナ禍に対応したウェブ研修を計画している。職員の自主、主体的な取り組みが原則だが、不足する場合は各課長のマネジメントで受講を促したい。

○関係人口創出・拡大事業

**宮崎議員** テレワーク研修交流施設整備について、具体的な内容はどのようなか。

**企画政策課長** 池の平温泉のいもり池周辺に施設を整備する。まずは、働く、観光する、遊ぶ、交流するをテーマにしたワーケーションに都市部から来ていただく。そしてワーケーションをきっかけに、都市部人材と市内企業のビジネスマッチング等による経営課題を解決することを目的に整備するものである。

**宮崎議員** テレワーク研修交流施設建設の前に、今ある所、これから完成する所のテレワ

ークの人の動きを検討すべきではないか。

○企画政策課長 昨年から施設整備の基本設計、実施設計を進めると同時に、いろいろなワーケーションの取り組みをやってきた。ワーケーションに絡んで約50団体、人数にして約400名のかたが当市に訪れている。先行的に着手をしてきた成果が実を結ぶと思

っている。

○生活交通確保対策事業

**宮崎議員** 斐太線・青田線のバス路線の再編に伴う検討とあるが、詳細はどのようなか。

**環境生活課長** 上越市と妙高市にまたがる路線として、くびき野バス株式会社が行っている路線バスで、利用者が減少し、上越市では廃止する方向で計画を策定し、バス事業者も令和4年3月末で廃止する意向が示されたことから、代替の交通手段について地元と検討をしていきたいと考えている。

○一般管理事業

**小嶋議員** 建設工事入札の地域貢献に取り組む企業を対象とする工事発注を拡大すべきではないか。

**財務課長** ISO・地域貢献企業の対象工事発注制度につ

いては、地域経済の発展と雇用に重要な役割を果たしている市内企業の経営の安定・拡大を図るとともに、市の施策、社会要請などに対応し、積極的な取り組みを進めるため、一定の基準を満たす企業を認定する制度で、そのインセンティブとして、市が発注する工事のうち、認定企業のみが参加できる一定件数の入札の機会を確保し、その登録事業所の増加を目指している。

○行政窓口サービス向上事業  
向野議員 スマート窓口システムについて、申請・届出書を電子化することについての内容はどのようか。

市民福祉課課長 住民票などの交付申請、転入、転出届の際に、これまで窓口で記入していた申請書、届出書の電子化を図るものである。具体的にはマイナンバーカードなどの読み込みや聞き取り内容を職員がシステムに入力することにより、市民のかたは申請書、届出書への記載が不要となり、手続の簡素化が図られるものである。

○市役所「ゼロクススマート」推進事業

村越議員 庁内のLED化に伴い市役所内の雰囲気づくりのための照明効果を考えたかどうか。

総務課長 デザイン的な部分で照明を使っているとところもある。ゼロカーボンに取り組み中で、健康管理に必要な照度は保ちながら、節電に取り組んでいきたいと考えている。

○地域づくり応援事業

村越議員 新井南部地区の地区担当職員の配置や業務内容についてどのようか。

地域共生課長 これまでに地域の役員の成り手がいない等の課題があげられてきた。そんな中で、地域と行政のつなぎ役として連携、調整を行う職員を配置したいと考えている。その担当がキーマンとなつて地域の要望、実態を把握しながら、現地に出向いて市役所とつなぐ業務を行うものである。

渡部議員 新井南部地区でのモデル実施より、もつと危機的な地区での実施はどうか。

地域共生課長 新井地区、新井南部地区、妙高高原地区、妙高地区の中で高齢化率が50%を超え最も高い地区となっている。また、人口減少についても、ほかの地域では10年間では10%程度の減少に対し、新井南部地域は25%と突出した現状であり、高齢化や人口減少が深刻なエリアであるため選定したものである。

渡部議員 モデル実施ではなく、すぐにでも本格実施する必要があるのではないか。

地域共生課長 安心して暮らして続けていくための支援と地域自治の維持という二面性を持って地域に入りたいと考えており、地域の実態を探りながら事情に合った支援を行っていく。

民生費

障がい者日常生活支援事業  
天野議員 道路交通法に基づく聴覚障害者標識の使用について市の認識はどのようか。

福祉介護課課長 平成29年8月に内閣府で世論調査行っており、俗称蝶々マークを知っている人の割合は23・9%で、国民にはある程度知られている。このマークの義務づけは道路交通法なので新潟県警に確認したが、妙高署管内では7名なので、市民のかたはあまり承知していないように認識している。



「聴覚障害者標識」

衛生費

○体と心の健康づくり事業  
天野議員 取り組みの多くが講座、研修会、相談支援等である。コロナ禍で十分な成果を上げる工夫はどのようか。

健康保険課長 令和2年度と同様に、検温、消毒に加え、参加者の人数を会場の定員に合わせて調整するなど、密を避ける対策を行い実施したいと考えている。

○2050ゼロカーボン推進事業

天野議員 「生命地域妙高ゼロカーボン推進宣言」を受けて実効性への課題はどのようか。

環境生活課長 地球温暖化という世界レベルの課題を市民、事業者、行政が自らの課題として率先して取り組むことが重要と考える。そのために、どのような目標で行動していくかが大切かと思う。

右崎議員 市内の二酸化炭素排出量や再生可能エネルギー普及の現状はどのようか。

環境生活課長 令和2年度の二酸化炭素排出量は、約29万9000トン。そのうち家庭から排出されるものは約16%であり、世帯当たり約4トンの1人当たり約1・5トンの排出がある。ゼロカーボンに向けた計画に市民の声をどのよ

うに反映していくのか。

環境生活課長 これまで同様、環境審議会に諮り、パブリックコメントを行うほか、環境基本計画の策定に当たって市民アンケートを行う予定なので、あわせて実施したい。

高田議員 貴重な動植物保護の観点から笹ヶ峰への一般車乗り入れ規制を行ってはどうか。

環境生活課長 車両乗り入れを規制することによる効果や観光関係のかたへの影響、代替交通手段等の課題があるため、今後の検討課題だと感じている。

高田議員 水資源の保全には関川水系漁業協同組合、関川土地改良区との連携が必要ではないか。

環境生活課長 今までは公害防止の観点しかなかったと思う。水質検査など河川の状態を把握する上では、関川水系の漁業協同組合から話を聞くことは重要だと考える。今後、連携は必要になってくると思う。

高田議員 ロードマップ、アクションプランの設定期間はどのようか。

環境生活課長 ロードマップは2050年まで、アクションプランは2030年までのものをつくる予定である。

### 農林水産業費

○六次産業化推進事業  
**右嶋議員** 加工用ブドウの栽培状況と、ブドウ栽培専門の協力隊員導入の経緯はどのようか。

**農林課長** 平成28年度から始めて、2品種は5年目、もう1つの品種は4年目である。収穫量は思っているほど上がっていない状況である。十分な管理がまだ行き届いていないことを鑑み、今後、特産化していくためには、栽培を専門に行うかたを確保、育成していくことが必要だという考えから対応したものである。

### 商工費

○観光地域づくり団体支援事業  
**向澤議員** マーケティング専門人材の登用により、どのような効果を期待しているか。

**観光商工課長** 営業や販路拡大、それから旅行商品の造成等、幅広い分野について取り組みを期待している。

**右嶋議員** 妙高ツーリズムマネジメントの観光による「稼げる地域づくり」の評価はどのようか。

**観光商工課長** 観光売上額は、毎年それぞれの事業所に協力をいただきながら調査をしてきている。観光売上額が年々増えてきている中で、域内に回っ

ている額も増えているという認識である。

**小嶋議員** 都市と農村交流は農村地域活性化を目的に行ってきたが、観光誘客推進に統合する狙いは何か。

**観光商工課長** 第3次総合計画において、新たな付加価値を生み出すツーリズムの確立の中で、グリーンツーリズムだけでなく、スポーツツーリズムやヘルスツーリズムを効果よく進めるために、観光商工課が所管となり進めていく。これまでの考え方を尊重しつつ、さらなる誘客につなげるべく事業展開を行いたい。

### 土木費

○安全・快適住まいづくり支援事業  
**堀川議員** ゼロカーボン推進工事の補助金について、限度額の根拠はどのようか。

**建設課長** 屋根や外壁等の断熱化、遮熱化、既存照明のLED化、それと太陽光発電システム、そして蓄電池システムで4項目になっている。合計で補助限度額が10万円を想定している。1住宅についてその年度1回で規定する予定である。

### 教育費

○基礎学力向上支援事業  
**堀川議員** 今後のタブレット

端末はどのように活用しているか。

**こども教育課長** 個別学習、協働学習や遠隔学習を組み合わせる中で、子どもたちの力を最大限に引き出せるような形の教育に活用していきたい。



市立学校に配備されたタブレット

○生涯学習推進事業  
**村越議員** モバイル機器（スマートフォン）等のハード・ソフトの使い方支援についての考えはどのようか。

**生涯学習課長** 知識を持っているかたを派遣する地域活動人材登録制度で、支援が必要な地域、市民のかたにダイレクトに支援ができるよう取り組んでいきたいと考えている。

○新図書館等複合施設整備事業  
**小嶋議員** 新図書館等複合施設の実施設計では、具体的な

市民の声をどのように反映するのか。

**生涯学習課長** これまで図書館のあり方検討会や図書館整備基本計画の中で検討を重ねてきた。今後、プロポーザル方式により、持続可能なまちづくりを実現していくための提案を受けつつ、実績などの実施体制を有する設計事業者を選定していく。その中で、専門家の提案やアイデア、これまで寄せられた意見、そしてパブリックコメントの内容を踏まえ検討を進めるとともに、必要に応じて利用者、関係団体の声を聞いていきたいと考えている。

### 歳入

**向澤議員** 臨時財政対策債の増加は、コロナ禍の影響でやむを得ない時期だが、中・長期的な考えはどのようか。

**財務課長** 臨時財政対策債の元利償還金相当額は、全額を年度、地方交付税の基準財政需要額に算入されるものだが、常に歳入に見合った財政規模を意識するとともに、必要な事業を実施する際は、国・県の補助金や優良な市債を活用する。また、基金を積み立てて、いざというときに活用するといったような持続可能な財政基盤の確保と健全な財政運営を心がけたいと考えている。

## 質疑の内容をインターネットでご覧ください！

本会議及び常任委員会の審議状況等をインターネットで公開しています。パソコン、スマートフォンから簡単にご覧いただくことが可能です。視聴は市議会ホームページの「市議会(本会議・委員会)のインターネット中継について」からご覧ください。

【ホームページ】<https://www.city.myoko.niigata.jp/docs/612.html>



# 常任委員会 議案をじっくり審査

〈付託案件の主な質疑〉

## 【総務文教委員会】

■議案第2号 令和3年度  
一般会計予算

○コミュニティ防災組織育成推進事業

問 女性に防災士資格取得支援の声をかけてはどうか。

総務課長 女性防災士の資格取得の推進は、今後、積極的に対応していきたいと考えている。

○戸籍住民基本台帳整備事業

問 マイナンバーカードのメリットを積極的にPRすればもっと交付率が上がると考える。高校生以下や一般の成人、65歳以上のそれぞれのメリットはどのようなか。

市民税務課長 マイナンバーカードは身分証明書、マイナンバーの確認、インターネットの電子証明書の3つの機能がある。免許証を持っていない人や高齢者、未成年者は公的な身分証明

書になる。今後は、健康保険証としての利用や運転免許証との一体化等も予定されている。

○地方創生推進事業

問 地域活性化起業人を活用した人材の登用は、どのようなかをお願ひし、行政に反映するか。

企画政策課長 国の制度で、総務省から紹介いただいたかたである。移住促進や関係人口の分野にたけたかたで、当市の人口減少対策として社会増の業務に期待している。

○空き家等適正管理事業

問 空き家についてにどのように対処しているのか。

地域共生課長 条例や空き家等対策計画に基づき対応している。基本的には所有者の責任が第一義である。その上で空家等危険家屋対応マニュアルに基づき対応している。特定空き家は条例により指導書と現況写真を送付

し、適正管理を促している。

○統合園舎新設事業（第三・斐太南・矢代）

問 矢代地域から通園バスを運行する予定はあるか。

こども教育課長 地域説明会等でのご意見や、保護者へのアンケート結果、ヒアリングをふまえて、新井小学校のスクールバスを活用した送迎を考えている。

■議案第7号 令和3年度  
杉野沢財産区特別会計予算

問 歳入において、雑入で水源

林造成事業補助金803万5000円が計上され、支出で分収造林伐採委託料が同額で計上されている。この事業に関し別に収入となるものはないか。

妙高高原支所長 伐採事業の全額を国の補助金で行い、売り払い収入として316万9000円となっている。

■議案第13号 令和2年度一般会計補正予算（第15号）

○地方債

問 減収補てん債の内容はどのようなか。

財務課長 地方消費税交付金、たばこ税、ゴルフ場利用税交付金、地方揮発油譲与税が、普通交付税の算定における基準財政収入額で見込んでいた額に比べ、約4080万円マイナスとなることから、減収補てん債の発行対象となり、補正するものである。

○地域医療体制確保事業

問 県立妙高病院の医師の現状はどうか。診療科目、外科や検査技師の必要性について状況はどのようなか。

健康保険課長 常勤医師数は4名で全員内科である。スキー場があり整形外科が大切だが、非常勤医師による週5日の診察である。妙高病院後援会を通じ、冬季間の休日医師確保の取り組みを行っている。

## 【建設厚生委員会】

■議案第2号 令和3年度  
一般会計予算

○交通安全対策事業

問 近年の交通災害共済加入者の推移、募集方法はどのようなか。

環境生活課長 令和2年度の加入率は約61%となっており、平成30年度以降3か年61%台で推移している。募集は取扱手数料が入ることから町内会を通じた加入申し込みが多い。

○障がい者日常生活支援事業

問 手話奉仕員養成講座について開催方法はどのようなか。

福祉介護課長 市内のろう協会に委託し、入門講座、基礎講座、応用講座をそれぞれ10名ずつで開催する。

○道路管理事業

問 消雪パイプがある道路で陥没しているところもある。調査すべきではないか。

建設課長 年間を通じ、道路パトロールや道路モニターのかたからの情報で調査している。冬場の陥没については雪により応急的な対応しかできないが、雪が解けた段階で調査し復旧を図る。

■議案第6号 令和3年度  
介護保険特別会計予算

○寝たきり高齢者等紙おむつ支給事業

問 一般的なドラッグストアを利用する考えはどうか。

給事業

給事業

給事業

給事業

給事業

給事業

給事業

給事業

給事業

【産業経済委員会】

■議案第5号 令和3年度高柳工場団地開発事業特別会計予算

■議案第13号 令和2年度一般会計補正予算(第15号)

■議案第2号 令和3年度一般会計予算

問 2力所調整池があるが、1力所を行う計画なのか。

○繰入金

観光商工課長 関川沿いと洪江川沿いにあり、会計内で、まず大きい関川沿いの方を行う。

問 鉱泉源の保護管理施設整備事業基金繰入金の補正理由はどのようなか。

観光商工課長 令和2年度は定期的な維持管理工事1件と災害復旧工事1件を見込んで予算を計上したが、元年の台風で災害復旧が2件となり、緊急を要する工事であり一般財源を財源としたが、基金に残額があり、財源振替で歳入だけの補正となった。

■議案第8号 令和3年度新潟県妙高市ガス事業会計予算

■議案第24号 地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正

問 使用量が2・8%しか減っていないのにガスの売り上げが8%減るのはどうか。

ガス上下水道局長 原燃料費調整制度により原油価格や為替に連動し価格が決まるため、昨年度に比べ今年度著しく下がっている。来年度もそれを見込んでいる。

■議案第9号 令和3年水道事業会計予算

問 改正後条項が1条増えたが、増えた内容はどのようなか。

観光商工課長 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に15条が追加された。15条の内容は、中小企業でなくなった場合も前の特例を引き継ぐという内容が追加されたものである。

問 料金の改定をしない形で見込んでいることでよろしいか。

ガス上下水道局長 改定は令和3年度行わない。その部分の予算措置はしていない。

■議案第27号 令和3年度一般会計補正予算(第1号)

問 未整備農地集積事業予算が昨年から5倍ぐらいになった。見込みはあるのか。

農林課長 令和2年度実績として1月末までに、2万700㎡の集積があった。なおかつ、1月以降も幾つか出てくるだろうということを想定して、令和3年度も同様の傾向であってほしいということも含めて、130万円を予算を計上させていただいた。

■議案第27号 令和3年度一般会計補正予算(第1号)

問 医師の報酬と医師費用弁償があるがどのようなか。

健康保険課長 医師の報酬は、集団接種会場でワクチン接種業務にあたる医師の報酬で、医療機関で接種された場合は委託料で医療機関に支払う。医師費用弁償は旅費である。

■議案第27号 令和3年度一般会計補正予算(第1号)

問 条例制定にあたり市長の考えはどうか。

市長 手話言語条例は、基本的な指針を示したものであり、これを契機に、環境整備を進めていくものである。

■議案第20号 手話言語条例

問 条例制定にあたり市長の考えはどうか。

市長 手話言語条例は、基本的な指針を示したものであり、これを契機に、環境整備を進めていくものである。

■議案第13号 令和2年度一般会計補正予算(第15号)

問 障がい者自立支援事業内容はどうなるか。

福祉介護課長 グループホームでは41人が44人。自立訓練では利用者2人見込んでいたが4人となった。共同生活援助では、グループホームでの相談、入浴、排せつ、食事の介護、日常生活の必要上の援助を行うもの。自立訓練は知的、精神的な障がいのあるかたが、金銭管理、服薬管理、家事等自立した日常生活を営むための必要な訓練に対してのサービスとなっている。

■議案第18号 希少野生動物物保護条例

問 希少野生動物はどのようなものを想定しているのか。

福祉介護課長 事業者が直接自宅へ届ける委託が原則である。今の制度では自宅に直接届けるサービスを委託事業としていますが、他市ではドラックストアで購入できる仕組みもあるので、今後検討したい。

環境生活課長 環境審議会に諮り、指定することになる。指定の要件は、新潟県のレッドデータブック等を参考に、有識者から意見をいただき市内に生息・生育し、希少性が高い植物6、昆虫類9、鳥類5、魚類2種類の合計22種類を予定している。



# 市政のここが聞きたい!

# 一般質問



議員が市の将来や方針、施策等について質問をすることです。  
3月3日、4日に議員12人による一般質問が行われました。



※見出し、質問部分は質問者本人が執筆したものを編集しました。



**妙高高原地域の教育のあり方について**  
天野京子 議員



**問** 「児童数の推移や複式学級の仕組みを学ぶ勉強会と意見交換会」での地域や保護者等の意見はどうか。

**教育長** 将来を考え、オール妙高高原の視点で進めてほしい。地域の考えも大切だが、学校や子ども園に通う児童、園児や保護者の考えを優先すべきではないか。地域、保護者に対し、メリット、デメリットの情報提供と説明を行い、理解してもらった上で協議する必要があるといった意見をいただいている。

**問** 妙高高原北小学校と妙高高原南小学校の合併という選択肢は検討しているか。

**教育長** 令和8年度までを見通した新たな妙高市立小・中学校整備構想の作成に着手しており、そこで検討していきたいと考えている。

**問** 妙高高原地域における未来志向の教育のあり方はどのようなか。

**教育長** 今後、統合の議論を含めて、一層地域と一体となった教育が進められるよう機運を高めていきたいと考えている。

**ドライブレコーダーの普及の考えは**

**問** 交通トラブルの早期解決や防犯にも役立つドライブレコーダーの購入費助成の考えはどうか。

**市長** 市民の皆さんに交通安全や防犯意識の向上に向けた意識啓発を行うことで事故、事件の防止を図っていくこととしている。ドライブレコーダー購入費等の助成は現在のところ考えていない。

**問** 市の公用車すべてにドライブレコーダーの設置が必要と考えるが、考えはどうか。

**市長** 車両の入替えの際や車両の使用目的なども考慮し、順次全車両への設置を進めていく。

**高校生への応援政策は**

**問** 高校生が普通自動車免許を取得する費用を助成する考えはないか。

**市長** 学校による運転免許の取得に一定の制限があることから助成は考えていないが、必要な資金の貸付制度を利用いただければと考えている。

11月が聞きたい！一般質問



## 印鑑手続きの廃止と業務の効率化について

岩崎 芳昭 議員



### 「押印廃止」見直しの取り組みは

**問** 市民等からの申請、届出等の書類で、押印が必要な書類と、押印廃止が行政手続き上から可能と考えられるものは、どの程度あるのか。

また、全庁的な押印廃止見直しの取り組みはどのようなか。

**市長** 行政手続きにおける負担軽減等利便性を図ることを目的に国が進めている押印の見直しに基づき、原則押印を廃止する方針で昨年10月末に各種申請書類について総点検を行った結果、押印を求めている申請書類が1148件、そのうち市の判断で押印の廃止が可能となるものが789件、契約行為や法令等により押印が義務づけられているものが359件あった。市の判断で廃止が可能なものうち規則等に定めのない92件は昨年未までに手続きを行い、今年1月1日以降は押印を求めていない。また、規則等の改正手続きが必要なのは3月末までに一括して手続きを完了させ、新年度から押印を廃止する。

また、国・県においても随時見直しを行っていることから、通知があったものから順次押印廃止の手続きを進めていく。

### 人口減少社会における課題と対応は

**問** 起業支援やサテライトオフィス誘致など、若者や女性にとつて魅力ある仕事の創出が必要であり、地域特性を活かした誘致戦略・広報戦略を更に向上させることが重要である。テレワーク等を念頭に置いた「まちづくり」を、どのように取り組む考えか。

**市長** これまでもワーケーションを通じた関係人口の創出、拡大を推進してきたが、分散型社会を地方への追い風と捉え、新たに首都圏等の人材と市内企業をつなぎ、経営発展を図るとともに市内への企業進出も視野に入れつつ、民間投資を大胆に呼び込みながら、サテライトオフィス等の開設を促進し、地域経済の活性化等雇用の拡大につなげていく。

ここが聞きたい！一般質問



## 持続可能な社会と地球温暖化対策について

阿部 幸夫 議員



### バイオマスごみ袋導入について

**問** 地球温暖化や海洋汚染に影響を与えているプラスチックごみの削減に向けて、レジ袋の有料化が導入された。環境保全意識の向上に向けて、バイオマスプラスチック配合の家庭用指定ごみ袋の導入の考えはどうか。

**市長** 令和4年度に予定しているごみ処理手数料改定に併せて従来の石油由来のプラスチックの使用を削減した新しい指定ごみ袋の導入を検討していく。

### 水素ステーション設置について

**問** 電気自動車が目ざされているが充電に時間がかかる。水素を燃料とする燃料電池自動車は燃料補給に時間がかからず、長距離走行も何ら問題ない。太陽光パネルを利用して家庭内で水素の生成が加速すれば、燃料電池自動車の到来となる。道の駅あらいに水素ステーションを設置する考えはないか。

**市長** 水素ステーションの建設費は約4億円と高額であることも

に、水素をエネルギーとする燃料電池自動車の国内累計販売台数は約3800台で国内全体の自動車保有台数の0.004%と非常に少なく、新潟県内の設置数は新潟市の1か所のみとなっていることから、道の駅への水素ステーション設置については、そのニーズや費用対効果の観点から、燃料電池自動車がある一定の普及率となるまでは必要性は低いと考えている。

### 国土強靱化対策制度活用について

**問** 台風による大規模な自然災害がこれまで多発してきた。防災や減災に繋がる復旧・復興に向けて取り組んできたが、強くしてしなやかな国土強靱化の抜本的見直しに向け「改良」をすべきと思うが、市の考えはどのようなか。

**市長** 事業の実施に当たり、地域の理解や関係機関との連携を得る中で、国土強靱化に向けた取り組みを進めていく。どこまでが国、またはほかの制度資金が使えるかという選択をさせてもらい、可能な限り、制度資金の利用をしたい。



太田 紀己代 議員

# 生活支援と環境対策について



## 子育て支援と生活環境について

**問** 0歳児保育を充実させるため3ヶ月児からの受け入れの検討、就職活動時の在園期間の延長、子育て中の家族への支援計画の立案について伺う。

**教育長** 3ヶ月児の入園ニーズは少ないと考えており、受入れ等に見直しは実施する予定はない。既に保護者の求職活動の実態や必要性に応じて個別に対応しており、認定期間を延長する予定はない。支援計画は作成しないが、子育ての不安や負担を軽減するために今後も丁寧な対応を図っていききたい。

## CO2排出削減施策と福祉連携について

**問** 廃食油の資源回収業者と福祉施設との連携、廃食油の回収推進のため福祉施設と住民の連携、全市的な廃食油の回収実施計画の推進について伺う。

**市長** 福祉施設での新たな取り組みは現状では難しいと考えている。今年度改定を進めている第2次妙高市一般廃棄物処理基本計画にお

いて廃食用油のリサイクル推進を位置づけ、家庭等から排出される廃食用油の回収量の増加に向けた市民への周知啓発を行うとともに有効利用の促進を図ることとしている。

## 森林浴と健康増進活動について

**問** 森林浴が出来る環境整備の実施、森林浴を提唱している医療機関や医師とのコラボレーション企画、森林浴と温泉浴とのエビデンス、スメッセージの強化、グリーンシーズンにおける観光とのマッチングによる健康増進活動について考えを伺う。

**市長** 今後も市民はもとより当市を訪れる皆様から豊かな大自然を満喫していただけるよう、適切な維持管理に加え、ベンチや体験場所の設置などの整備を計画的に進めていく。エビデンスに基づく取り組みとして、医療との連携などによりプログラムのブラッシュアップを図り、市民や観光客からエビデンスをより実感していただくことが必要と考えている。



小嶋 正彰 議員

# 今冬豪雪の住宅除雪対策と課題について



## 危険な空き家の状況は

**問** 今冬の豪雪では危険な空き家を町内会等でやむなく雪下ろしを行ったが、第一義的な責任は所有者にある。所有者が遠隔地であったり不明の空き家も増加しており、対応が難しいが対応はどのようなか。

**市長** 関係条例のほか空き家等対策計画に基づき、発生の抑制、適正な管理、活用の促進、特定空き家に対する措置の具体的な施策を推進し、市民の安全で安心な暮らしの確保や地域の良好な景観の保全に努めているところであり、引き続き条例等に基づき必要な対策を講じるよう関係機関と連携しながら、所有者に指導書や現況写真を送付するなど早期の対応を促したいと考えている。

## 雪下ろしの転落事故防止対策は

**問** 今冬は除雪中の転落や除雪機の事故も多発した。事故防止啓発の広報のほか、具体的な事故防止対策を行っていく必要があるが、今後の対応をどのように考えてい

るか。

**市長** これまで屋根の雪下ろしに伴う市民の負担軽減を図るため、既存住宅の落雪化や融雪式などへの改修に対して補助を行ってきたが、新年度からは危険防止対策として命綱固定器具や転落防止柵などの設置に対する補助を追加し、転落防止対策の強化を図りたいと考えている。

## 未利用森林を活かした産業興しを

**問** 国では森林の多面的機能を活かした山村活性化策として森林サ―ビス産業の育成を進めている。市内の7割が森林である当市でも健康、観光、教育等の分野で民間所有の山林や1200ヘクタールを超える市有山林を活かし、新しい産業を興していくべきと考えられているか。

**市長** 自然環境を保全しながら、民有山林の活用と同様に森林学習や体験学習、健康増進の機会の提供など、森林サ―ビス産業としての森林空間の活用について調査研究を進めたい。

1111が聞きたい！一般質問



植木茂 議員

## マイクロツーリズムとヤングケアラーについて



### マイクロツーリズム(小さな旅)について

**問** 新型コロナウイルスの感染症拡大の影響で旅行業・観光業・飲食業は大きな打撃を受けている。当市では期待していたインバウンド需要が激減している中、商圏内片道1時間ほどの近場の温泉地やグルメ店、自然散策、文化体験などを楽しんでもらうマイクロツーリズム(小さな旅)が今注目を集めているが、当市での取り組み状況と対策をどう考えているか。

**市長** 新潟県つなぐ、にいがた。県民宿泊キャンペーンと連動した妙高へお出かけ応援キャンペーンの実施や、国のG.O.T.トラベルと連動した妙高安全・安心な旅キャンペーンでは、県内や長野県などをターゲットとして新聞広告やウェブ広告などにより誘客を図るなど、マイクロツーリズムを推進してきた。今後、当市を選んでいただけるよう、妙高ツーリズムマネジメントや旅館連合会など観光に携わる事業者等が主体になり、密を避けた平日閑散期への分散化、健康や自然をテーマとした観光コ

ンテンツの磨き上げなど、ニューノーマルな時代に対応した魅力的な企画を開発していくべきと考えている。

### ヤングケアラーの現状と支援について

**問** 核家族化・ひとり親世帯の増加により、18歳未満で親の介護や家事・兄妹の世話などを担うヤングケアラーの子どもが全国で年々増加しているが、当市のヤングケアラー問題の現状と教育委員会の認識・支援について、今どのように考えているか。

**教育長** これまで学校やこども園、保育園からの報告はなく、相談等も受けていないことから、現在該当する子どもはいないものと認識をしている。実態を把握した場合には早期の情報提供を依頼するとともに要保護児童対策地域協議会等で情報を共有し、具体的な対応を検討する中で、必要に応じて医療や介護保険サービス、障がい福祉サービスなど適切な支援につなげるため、庁内の関係部所とも連携し、対応したいと考えている。

※本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている児童のこと。

こころが聞きたい！一般質問



八木清美 議員

## 妙高市史発刊の考え方について



### 問 私たちの先祖から現代そして未来へ、しっかりと引き継ぐためにも1つの節目に記念誌として形にしておくことが重要ではないかと考える。その1つ、市史の編さんには歳月と経費がかかり大変な作業を要するが妙高市史の発刊の必要性について、市の考えはどうか。

**市長** 専門知識を持つ有識者を加えた委員会を立ち上げ、資料収集や原稿の執筆などを進めていく必要がある、記念誌とは別に考える必要があると考えている。新井市史が昭和46年に発刊されてから約50年、妙高高原町史と妙高村史が発刊されてから約30年がたとうとしている。発刊されてから現在までの期間を補完する観点から、新年度より郷土の歴史や魅力を後世に伝える妙高市史の編さん作業に取り組みたいと考えている。

大きい。市はその現状と運営についてどのような支援が必要と考えているのか。

**教育長** 地域のつながりをつくることにより子どもの孤立を防ぎ、居場所づくりにより大きな役割を果たしていると考えている。また、開設に向けて組織された実行委員会を中心に運営されているが、上越教育大学の学生もボランティアとして多く参加していると認識している。引き続き広報などをはじめとした協力を積極的に行いたい。

**問** 子ども食堂では今年度、感染症対策に配慮しフードドライブとフードシェアリングに体制を変えて活動してきた。市の現状把握と今後の支援はどのようなか。

**教育長** 児童扶養手当を受給するひとり親のかたに対し、面接時に活動を紹介している。実施団体からは、寄附される食品だけではなく、必要な要望に対応し切れないとの声があることから、市としても実施団体との情報交換などにより、市民の皆様や企業に対し利用者の要望を理解していただくための周知をするなど支援していきたい。

### 市内「子ども食堂」について

**問** 妙高市内では子ども食堂が南部を中心に1カ所民間主導で行われているが、今後さらに必要なライオンとなっていく可能性が



### 妙高市を SDGsの先進地に

村越 洋一 議員



#### 消費行動を変え域内経済の活性化へ

**問** 障がい者雇用、原材料の地元調達など市内のサービスや商品にSDGs達成マークを付し、独自のポイント制度を設けてはどうか。

**市長** SDGsの達成を認証するには、世界標準の認証基準を定めることが必要であり、国連開発計画では、達成効果があるかを評価する基準を策定していると聞いており、妙高市が独自で認証基準を定めポイント制度を設けることは時期尚早と考えている。

**問** 教育の場でエシカル消費を学ぶプログラムとして、有機の味噌作りを行ってはどうか。

**教育長** 学校教育の場では、米作りや野菜作りなどを通して郷土の食材について学び、生産と消費についての理解を深める学習につなげており、今後の学習プログラムの一つとして各学校に紹介したい。

#### 環境を守り持続可能な地域を作る 農林行政を

**問** 国は2050年までに有機農

業の面積を農地の25%に拡大する目標を設けるといふ報道があつた。環境保全型農業について市の考えはどうか。

**市長** 水稲において、化学薬品と化学合成農薬を5割以上低減した栽培と国際水準GAPへの取り組みをセットで行う冬期湛水管理が実施されており、有機農業や自然農法などについては、注目は年々高まっていると認識している。

**問** 南部の三沢における里山の環境保護を支援し、里山暮らしや自給自足を希望する移住者を受け入れ、循環型の共生圏域を創造してはどうか。

**市長** 美しい自然景観等の地域資源を生かし、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指すものであり、当市のまちづくりの基本理念である生命地域の創造に通ずるものと考えている。持続可能な地域づくりを主体的に進めることが困難な地域での新たなステージのあり方について、地域と共に研究してまいりたいと考えている。

\*エシカル消費…消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。



### 新しい道の駅の 運営状況について

渡部 道宏 議員



#### 新しい道の駅の運営は良好か

**問** 新しい道の駅の入込客が少ないが、レストラン等の施設の運営状況は計画どおりとなつているのか。市民からの評価や声が届いているのか。経営が安定していない場合の対応はどうするのか。

**市長** 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うインバウンドの受入れ並びにGOTOトラベルの停止や、2度目の緊急事態宣言発令、1月の豪雪などの影響から、来場者数は当初の見込みより減少しているが、農産物直売所の登録生産者数は現在113名となつており、オープン時の約2倍に拡大している。また、直売所販売促進イベントや防災広場での集客イベントなど計画に沿った運営が行われている。四季彩館みようこうは、非収益部分である玄関ホールやトイレの維持管理に対して指定管理料を支払っているが、農産物直売所、レストランの収益部分は指定管理者の責任において管理運営をお願いしており、収益が予定に満たない場合でも市から補填は行わない。

**問** 販売品の品揃えや施設の案内表示についてどのような対応を考えているのか。

コロナ禍での人の動きが元に戻るには時間を要すると思われるが、経営の安定化を図るため、登録生産者の拡大や利用者ニーズに沿った農産物の確保、雪室や加工場を活用した新たな商品開発など、今後も指定管理者と共に取り組みを進めていく。

#### 新しい道の駅の市民からの評価について

**市長** 農産物は、生産者から委託を受けて販売している。農産物等が売れた場合、生産者から販売手数料を徴収しており、市内生産者から17%、市外生産者からは20%、加工品は、市内生産者は20%、市外生産者は30%とするなど差別化を図っている。市内生産者の出品数を増やしていくため、指定管理者と共に市内登録生産者の拡大に向けた取り組みを進めていく。案内表示は、既存道の駅北側入口に整備されている看板と同様のものが3月中に完成予定である。

1111が聞きたい！一般質問



### 新図書館等複合施設整備計画 予算縮小見直しの考えは 宮澤 一照 議員



コロナ禍における本市経済状況を  
配慮すべきではないか

**問** 今回の建設計画にあたり、コ  
ロナ禍における国難ともいえる財  
政状況と本市経済における影響を  
どのように捉えているか。

**市長** 妙高市の未来を切り開き、  
社会的、経済的、そして文化的な  
民度の向上を図るために非常に重  
要な役割を担う施設であると考え  
ており、複合施設による相乗効果  
により町なかになぎわいづくりにつ  
なげることを目指し、コロナ禍に  
よる社会情勢等を考慮しながら着  
実な進捗を図ることが必要である  
と考えている。

#### 自主財源の減少と 依存財源の増加について

**問** 本市における自主財源と依存  
財源の比率から、現在の国・県・  
市の経済状況を鑑みたくうえで計画  
していくべきではないか。

**市長** これまでに市民や団体の皆  
様をはじめ市議会の間からも、地  
域に活力をもたらす拠点として整

備を求める要望があり、平成29年  
度に妙高市図書館のあり方検討会、  
翌30年度からは妙高市図書館整備  
検討委員会を設置し、延べ13回の  
検討を重ねるとともに、パブリッ  
クコメントなどを通して広く意見  
をお聞きしながら進めてきたもの  
である。

#### 本市の財政規模にあった整備計画が

**問** 本市の財政規模にあった整備  
計画を念頭において計画すべきと  
思うがどうか。

**市長** 限られた財源を効果的に活  
用し、いかに市民満足度の向上を  
図っていくかという点が求められ  
ている。

#### 想定する予算が大きすぎるのではない

**問** 大枠の予算が大きすぎるので  
はないか。

**市長** 国の交付金や優良債を活用  
し、財源確保に努めるほか、プロ  
ポーザル方式の設計によりコスト  
削減につながる様々な提案を募り、  
事業費の低減に努めていく。

議会ではこのようことが決まりました



### 市立専門学校の 整備について 堀川 義徳 議員



#### 市立専門学校整備について

**問** 妙高市で生まれ育った若者が  
市内企業に就職し即戦力で活躍で  
きるような人材を育てるため、専  
門学校を整備することは人口流出  
を防ぐことにもつながると思うが  
その考えはどうか。

**市長** 少子化時代において、学校  
の経営環境が年々厳しさを増して  
いることや、何が次世代に必要な  
かを考慮して、専門性を持った講師  
についてもいろんな形での選択が  
ある。まずは人材がそろるかどう  
かということ、市内学生の進路  
選択においてミスマッチが生ずる  
可能性があることなどに鑑み、現  
時点では、もう少し時代の流れ、  
次世代への新たなつくり方の中で  
考慮する必要があると思っている。

#### 道路除雪と空き家対策について

**問** 今冬の大雪や市内の人口密度  
などを考慮し、新たな消雪パイプ  
路線や廃止路線また空き家を解体  
し機械除雪の雪押し場にするなど  
時代と共に、道路除雪のあり方も

検討していく必要があると思われ  
るがその考えはどうか。

**市長** 道路除雪の雪押し場や排雪  
場は、土地所有者のご理解、ご協  
力を得ながら除雪業者と調整する  
中で確保している。これまで住宅  
密集地で雪押し場の確保が難しい  
路線は、消雪パイプで対応してき  
た。地域によっては、湯水等によ  
り消雪機能が低下した路線は機械  
除雪に切り替えて対応している。

市が空き家を解体することは法律  
上及び条例の中で空き家の管理は  
所有者の責務として行うことを規  
定しており、個々の財産処分を公  
費負担で行うことは慎重な対応が  
必要なこと、また過去に自費で解  
体を実施した所有者との公平性も  
確保できないことから、市が解体  
することは難しいと考えている。

また近年、宅地開発が進行してい  
る地域では、新規消雪パイプの要  
望等もあるが、地下水位の低下に  
より設置は難しいことから、宅地  
開発の計画段階から市と事業者が  
協議を行い、排雪場の確保に努め  
ている。



高田 保則 議員

# 多様性と調和の まちづくりについて



**問** 妙高市は「豊かな自然を大切に安心して生命を育むことができれば生命地域の創造を基本理念としてSDGsを推進し次の時代になくまちづくりに取り組む」とある。

SDGsの「目標5のジェンダー平等を実現しよう」「目標10の人や国の不平等をなくそう」は日本の社会での目標としては難しいものがある。

真の豊かさ、安心して生命を育む社会の実現、SDGsの目標達成には「多様性と調和のまちづくり」とその理念としての「妙高市差別と偏見のない人権尊重のまちづくり条例」を制定し、多様性と調和のある「豊かな生命地域妙高」を実現してはどうか。

**市長** 私たちが生きていく上で大切なことは、誰もが幸せに暮らせるようお互いに思いやり、人権尊重される社会を築くことであると思っている。差別や偏見は決して許されるものではなく、改めて市民一人ひとりが人権に対する理解と知識を深め、人権が尊重される社会の実現に向けて歩み続けるこ

とが重要であると思っている。また、人権尊重のまちづくりは、生命地域の創造と誰一人取り残さないというSDGsの理念を踏まえて、多様で包容力のある持続可能な社会の原点となるものである。

引き続き人権尊重の視点を立った幅広い施策を推進し、人権尊重が当たり前のこととして受け入れられる地域社会の実現を目指したい。

**教育長** 学校教育の場では同和教育を中核とした人権教育を教育課程に確実に位置づけ、様々な人権問題について学び、差別をしない、させない、許さない子どもを育む教育に力を注いでいる。現在のところ条例の制定は考えていないが、今後も引き続き、子どもたち、そして市民一人ひとりの理解と行動に結びつくよう取り組みたい。

また、多様性の調和の精神、妙高市民の心推進の6本柱の取り組みや啓発活動をより具体性を持たせながら推進していくことで、一人ひとりの人権が尊重され、互いに認め合い、誰もがあらゆる偏見や差別を受けず、深い絆で結ばれる地域の実現を目指したい。

## 一般質問の様子を動画でご覧ください



一般質問のページのQRコードから、各議員の一般質問の様子を視聴することができます。ぜひご利用ください。  
また、パソコンからご覧いただくことも可能です。パソコンから視聴いただく場合は、妙高市議会ホームページからご覧ください。

## 議会傍聴にお越し下さい

- Q. 傍聴するには事前に予約が必要?
- A. 事前の予約は不要です。会議当日に本会議は市役所西側6階、常任委員会は5階の受付で氏名、住所等を記入いただきます。
- Q. 突然行ってどんなことを審議しているかわかるの?
- A. 傍聴受付では、当日の会議日程や審議する議案書の貸出しを行っています。お気軽にお越しください。  
※東側エレベーターは5階までとなっているため、西側エレベーターをご利用ください。



本会議は、市役所西側6階へ



受付で氏名、住所等を記入



車いす用傍聴席も備えています



# 議会3月定例会を手話を通じて傍聴されました

3月25日に新潟県聴覚障害者協会及び妙高市ろう協会の皆さんが手話を通じて議会を傍聴されました。「手話言語条例」は3月10日に提案され、建設厚生委員会に付託されました。定例会最終日には委員会でのような審議がなされたか委員長報告があり、賛成議員全員で可決されました。ろう協会の皆さんは、一緒に來られた手話通訳者と共に、可決されるまでの経過を傍聴席から見守っていました。

地域全体で手話言語に対する理解を深め、意思疎通を図りやすい環境を整えるための第一歩を踏み出した日を記念して、議会終了後に入村市長、関根議長ほか全議員と記念撮影を行いました。



ろう協会の皆さんと議会終了後に記念撮影

## 令和2年の議会活動 ～定例会・臨時会、議会運営委員会、各常任委員会～

令和2年中に行われた会議等は以下のとおりです。  
このほかにも全員協議会、広報広聴委員会を開催しています。

- |  |   |  |   |   |  |  |  |  |  |   |  |
|--|---|--|---|---|--|--|--|--|--|---|--|
| <p>◆1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>21日 第1回議会運営委員会</li> <li>29日～30日 議会運営委員会管外調査</li> <li>31日 第3回議会運営委員会</li> </ul> | <p>◆2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10日 第1回臨時会</li> <li>13日 第1回建設厚生委員協議会</li> <li>19日 第4回議会運営委員会</li> </ul> | <p>◆3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2日 第5回議会運営委員会</li> <li>2日～24日 第2回(3月)定例会<br/>(会期23日間)</li> <li>13日 第6回議会運営委員会</li> <li>16日 第2回建設厚生委員会</li> <li>17日 第1回産業経済委員会</li> <li>18日 第1回総務文教委員会</li> </ul> | <p>◆4月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>11日 第7回議会運営委員会</li> <li>14日 第3回臨時会</li> <li>20日 第2回産業経済委員協議会</li> <li>27日 第3回産業経済委員協議会</li> <li>27日 第8回議会運営委員会</li> </ul> | <p>◆5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5日～23日 第4回(6月)定例会<br/>(会期19日間)</li> <li>16日 第2回総務文教委員会</li> <li>17日 第3回建設厚生委員会</li> <li>18日 第4回産業経済委員会</li> <li>26日 第4回建設厚生委員会</li> <li>30日 第3回総務文教委員会</li> </ul> | <p>◆6月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3日 第5回産業経済委員会</li> <li>10日 第9回議会運営委員会</li> <li>13日 第5回臨時会</li> <li>20日 第5回建設厚生委員協議会</li> <li>30日 第6回産業経済委員会</li> </ul> | <p>◆7月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4日 第11回議会運営委員会</li> <li>1日～25日 第6回(9月)定例会<br/>(会期25日間)</li> <li>10日 第12回議会運営委員会</li> <li>16日 第8回産業経済委員会</li> <li>17日 第5回総務文教委員会</li> <li>18日 第7回建設厚生委員会</li> </ul> | <p>◆8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5日 第6回建設厚生委員会</li> <li>7日 第7回産業経済委員会</li> <li>18日 第4回総務文教委員会</li> <li>19日 第10回議会運営委員会</li> </ul> | <p>◆9月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>19日 第15回議会運営委員会</li> <li>27日 第8回建設厚生委員会</li> </ul> | <p>◆10月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>13日 第13回議会運営委員会</li> <li>21日 第14回議会運営委員会</li> <li>21日 第7回臨時会</li> </ul> | <p>◆11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>19日 第15回議会運営委員会</li> </ul> | <p>◆12月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1日～18日 第8回(12月)定例会<br/>(会期18日間)</li> <li>10日 第9回建設厚生委員会</li> <li>11日 第9回産業経済委員会</li> <li>14日 第6回総務文教委員会</li> <li>18日 第16回議会運営委員会</li> </ul> |
|--|---|--|---|---|--|--|--|--|--|---|--|

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大から早一年以上が経ちました。この間、世の中は大きく変わり、改めて当たり前のありがたさを感じる一年でした。コロナ禍において、テレワークやリモート会議など働き方も変わり、各地域では伝統行事の縮小開催や中止など地域コミュニティの希薄に拍車をかけているように感じます。物事には、変えていいものと変えてはいけないものがあり、「議会だより」は市民の皆様に議会活動を報告する大切な広報紙だと思っております。しかしその形は時代と共に変化していますが、議会活動を一人でも多くの皆様に「伝える」という事は変わることのない使命であり、今後も努力してまいります。

広報広聴委員長  
堀川義徳